知的障がい特別支援学級Aグループ　自立活動　学習構想案（集団）

題材名「『新聞紙ゲーム』『どっちが好き？』で、自分や友達の気持ちを考えよう！」

日　時：令和〇年〇月〇日（〇曜日）

第〇校時

〇〇：〇〇～〇〇：〇〇

場　所：教室名

指導者：教諭　〇〇　〇〇

１　生徒の実態と指導目標

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 生徒名 |  | 健康の保持 | 心理的な  安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
| 生徒A  （２年） | 実態等  ★：中心的な課題 | ~~・手洗い、歯磨きが不十分で、鼻いじり、フケいじりなどが多い。~~  【日常的な指導】 | ・不安定になると突発的な行動が出る。（手が出る、飛び出す）  ・自分が話したいときには、相手の状況を考えずに話しかける。 | ★相手の感情を読み取ることが難しい。  ・自分と違う意見や助言を素直に受け入れることが難しい。  ・思いついたことを口に出してしまう。 |  | ~~・筋力が弱い。~~  【教科】 | ・相手に応じた言葉遣いや態度が難しい。 |
| 指導目標 | 【長期目標】相手の話を聞いて、自分と同じだったり違ったりする感じ方や考え方があることに気づき、他者が話しているときは待ったり相槌をうったり感想を述べたりするなど友達を意識して話をすることができる。  【短期目標】他者の気持ちに関心を向け、自分の気持ちと比較することができる。 | | | | | |
| 指導内容 | ア　他者と一緒に楽しく活動することを通して、他者のことについて話をするなど他者に関心をもつ。  イ　他者の意見を聞き、自分の意見との相違を知る。  ウ　教師などに促されると、他者の気持ちを予測しようとしたり関わったりする。 | | | | | |
| 生徒名 |  | 健康の保持 | 心理的な  安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
| 生徒B  （２年） | 実態等  ★：中心的な課題 | ~~・手洗いや歯磨きの習慣が身についていない。~~  【日頃から】 | ・不安になると粗雑な言動をしたり自傷に至ったり過呼吸になったりする。  ★活動をやめられないことがある。  ・ほしいものを勝手に自分のものにしてしまうことがある。  ~~・褒められると自信をもって活動できる。~~  【良さ】 | ・異性との距離が近い。  ・大人との関わ  りを好む。  ・他者の気持ちに気付きにくい。  ・特定の友達のできていないところが気になり指摘を繰り返す。  ・気持ちが沈むと動けなくなったり返答しなくなったりする。  ~~・学級のルールを守ることができる~~【良さ】 | ~~・左右が分からない。~~【教科】  ・全体把握が難  しい。  ~~・会話などで時系列を踏まえて考えることが難しい。~~  【教科】 |  | ~~・日常的な会話でやりとりができる。~~【良さ】  ~~・語彙が少ない。~~【教科】 |
| 指導目標 | 【長期目標】周囲の助言を受けながら気持ちを落ち着けたり切り替えができたりするなどの気持ちの調整をすることができる。  【短期目標】自分の気持ちの変化に気付くことができる。 | | | | | |
| 指導内容 | ア　自分の不安なときと落ち着いているときの状態を知る。  イ　話をしたり楽しい活動にチャレンジしたりすると、心を落ち着けることができることを知る。  ウ　次の活動に移るべき状況を把握し、気持ちを切り替える。 | | | | | |
| 生徒名 |  | 健康の保持 | 心理的な  安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
| 生徒C  （２年） | 実態等  ★：中心的な課題 | ~~・偏食がある。~~  【まだ配慮】  ~~・整理整頓などの習慣が不十分~~。  【教科】  ~~・更衣や歯磨き、~~  ~~入浴等の身辺~~  ~~処理、掃除等が難しい。~~  【まだ】 | ・不安になると暴言・他害・物傷  に至る。  ・注意や指摘に対しての興奮が静められない。  ~~・常に何かを触っていようとする。~~【配慮】  ・活動をなかなかやめることが難しいときがある。 | ・友達の行動に適切な対応をすることが難しい。。  ★苦手な活動か  ら逃避しがち。  ・集団の中に入って一緒に活動  するのが苦手。 | ・注意が転導しやすく。注意の持続時間が短い。  ・物の整理が苦手。 |  | ・自分の気持ちや要求を適切な方法で相手に伝えることが難しい。  ~~・SOSを発信したり、相談したりする技能が身についていない。~~  【まだ】 |
| 指導目標 | 【長期目標】自分には様々な気持ちがあることを理解し、自分の気持ちを教師と一緒に整理することで落ち着いた行動ができる。  【短期目標】自分の中にある様々な気持ちに気付くことができる。 | | | | | |
| 指導内容 | ア　友達との簡単なゲームなどに参加し、人とのかかわりの楽しさに気付く。  イ　活動をした前後の自分の気持ちやその変化に気付き、伝える等する。  ウ　同じ活動をしたときの他者の気持ちを知り、自分とは違う気持ちがあることに気付く。 | | | | | |

２　題材について

1. それぞれの生徒における題材観と指導目標

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 生徒名 | 題材観 | 題材における指導目標 |
| 生徒A | 『新聞紙ゲーム』は勝敗のあるゲームである。本生徒は、勝ち負けに関して他者への関心を向けやすいと考える。また、『どっちが好き？』の活動は、提示されたものから好きなものを選び、その理由を友達間で伝え合う活動である。生徒の好きなものが選択肢にあれば、意欲的に理由も発表することができると考える。また、友達と好きなものが「同じ」や「違う」が分かりやすく、違ったときの気持ちや理由について聞くことで他者との意見の相違に気付きやすいと考える。最後の活動の振り返りは、友達についても気付いたことを書く等振り返るポイントを絞ることで、自分のこと、他者のことなどに着目できるような工夫ができると考える。 | 他者の気持ちが、自分と同じか違うかを自ら比べるなどしながら、他者の気持ちに関心をもつことができる。 |
| 生徒B | 本題材は、２つの活動を軸に構成し、更にその活動の中で繰り返しの活動を取り入れる等して気持ちや活動を切り替える場面を多く設定できると考える。また、２つの活動毎に気持ちの状態を確認する等ができ、自分の気持ちを振り返ったりその時の気持ちに気付いたりすることができると考える。友達と学ぶことで、一緒に活動する友達の様子をモデルとして、行動の適切さや不適切さにも気付くことができやすいと考える。 | ・周囲の状況に合わせて活動を切り替える必要性に気付くことができる。  ・活動の前後で、自分の気持ちの変化に気付くことができる。 |
| 生徒C | 学習活動は３人の少人数で、友達の活動を見て見通しをもつことができる等、心理的負担を減らすことができる。また、少人数であることで、友達との間に教師が介在しやすいが、友達と一緒に活動できたという自信にも繋げやすいと考える。また、『どっちが好き？』は２択とし、迷いが少なく選びやすいものを設定しやすい。さらに、口頭で返事ができない場合も指さし等で意思を表示しやすいと思われる。欠席の多い本生徒にとっても、活動がシンプルで、見通しが持ちやすいものである。 | 小集団の活動に参加し、教師の助言等を受けながら、みんなと一緒に活動を行い、自分の気持ちを伝えたり他者の気持ちを聞いたりすることができる。 |

1. 集団で学習を行う意義

指導すべき課題は個々にあるが、個別の課題を見てみると、３人に関連する課題として、自分の気持ちを伝えたり、他者の気持ちを聞いたりすることが苦手であることが挙げられる。そこで、小集団を形成し、勝敗のあるゲームや友達とのやりとりをすることで、自分や他者の気持ちに気付ける学習を設定する。

1. 題材計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 題材における指導内容 | | | 授業時数 |
| 生徒A | 生徒B | 生徒C |
| １ | ・好きなものや好きな活動を選び、理由を考えて、言葉で伝える等、自分の気持ちを表現する。 | ・ゲームを通して楽しさや嬉しさを伝えるなどする。  ・スケジュールに合わせた活動を意識する。 | ・小集団での活動に見通しをもつ。  ・自分の気持ちをYES－NO、または自分の言葉で答える。 | 4 |
| ２ | ・相手の発言を待って自分の意見を発言したり、相手の話に相槌をうったり「同じ」や「違う」を伝えたりする。 | ・教師の助言を受け入れて、スムーズに気持ちや行動を切り替えて活動することで、終始、楽しく活動することが分かる。  ・友達と同じ、違うなどの気持ちを共有し、自身の気持ちの変化を知る。 | ・小集団での活動に見通しを持ち、教師の働きかけに応じて自信をもってスムーズに活動する。  ・自分の気持ちをYES－NO、または自分の言葉で答える。 | ６／１２  本時 |

３　本時の学習

1. 展開（目標を含む）

※別紙（A3）

1. その他

〇場の設定



じゃんけんゲーム時

導入・「どっちが好き？」振り返り時

〇板書計画

|  |
| --- |
| 黒　板 |
| 自立活動  １　今の気持ち  ２　今日の活動  ３　新聞ゲーム  ４　どっちが好き？  ５　ふりかえり |

〇ICT活用計画

電子黒板の利用を行う。各生徒の気持ちなどを記載したりメモをしたり説明用のボードとして活用する。

〇準備物、教材、参考資料など

 ワークシート、シール（気持ちレベルに貼るシール）

 新聞紙

 「どっちが好き？」で使用するもの

➢ 赤ペンと青ペン

➢ クマのぬいぐるみとヒーローもの

➢ リンゴとミカン

➢ 寿司とハンバーグ（写真） 他